秋田魁新報　2026年10月23日付　あきた経済

秋商高生とコラボ弁当

アマノ販売　食育要素、生徒らＰＲ

県内でスーパーを展開するアマノ（本社男鹿市）は25日まで、秋田商業高校（秋田市）の生徒と共同開発した食育コラボ弁当「塩分控えめ　秋田愛は恋め弁当」を、同市御所野の「スーパーセンター アマノ御所野店」で販売している。塩分控えめで、栄養バランスにも配慮した健康志向の自信作だという。

コラボ弁当は県産エダマメを入れたご飯、サケの秋田味噌漬け焼き、しょっつるで味付けした厚焼き卵、男鹿の藻塩と「あきたしらかみにんにく」を使ったから揚げなど、県産食材をふんだんに取り入れている。８６２円で、各日50食限定で販売する。

塩分は３㌘以下に設定。野菜１２０㌘、タンパク質30㌘をそれぞれ摂取できる。忙しい子育て世代の母親を主なターゲットに据え、栄養バランスを重視した。



アマノと共同開発した食育コラボ弁当をＰＲする生徒たち

22日は３年の安藤七芭さん、照井さくらさん、田近彩乃さん、芋田千夏さんの４人が御所野店の総菜コーナーで弁当をＰＲ。夫婦や家族連れらが次々と手に取り、１時間ほどで完売した。

アマノは食育活動に力を入れており、弁当は秋田商高が今月17日に開いた「ＡＫＩＳＨＯＰ（アキショップ）」での販売に向けて開発。６月以降、同校の２、３年生計25人でつくる食育弁当班がレシピを考案し、アマノが試作品を製造。試食と改善を経て完成させた。

アマノは毎月第４週を食育応援週間としており、これに合わせ店内でも弁当を売り出した。安藤さんは「食育で一番大切なのは食事を楽しむこと。地元のおいしい食材を生かし、彩り豊かに作った。塩分は控えめだが秋田愛は濃いめ。ぜひ目と舌で味わってほしい」と話した。（北嶋彩佳）

ⓒ秋田魁新報社